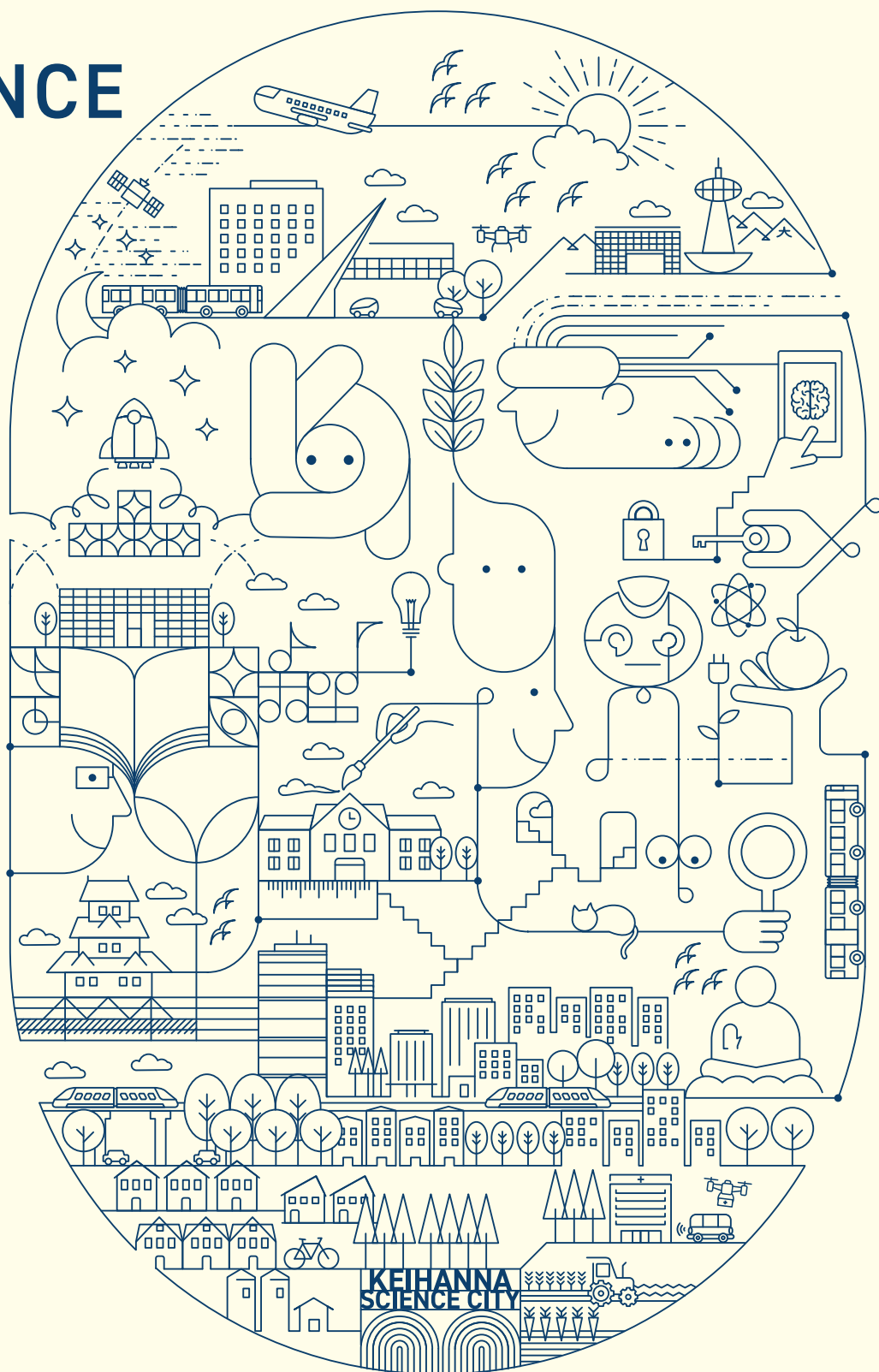


KEI HAN NA SCIENCE CITY

みらいが生まれるまち



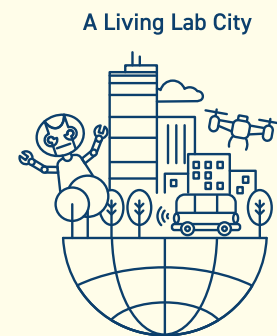
関西文化学術研究都市

What is Keihanna Science City?

関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）とは？

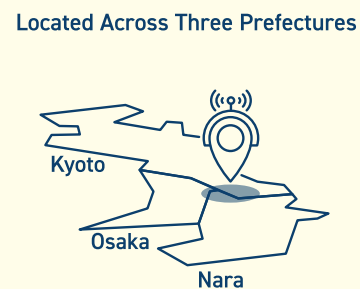
Overview

どんな都市？
研究成果を社会実装へつなぐ
“都市まるごと実証フィールド”



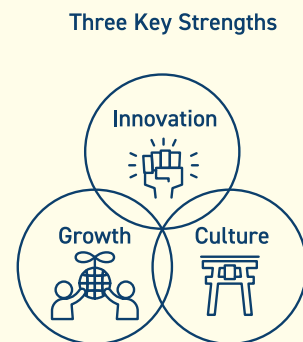
Location

どこにある？
京都・大阪・奈良の3府県にまたがる
京阪奈丘陵



Strengths

何が強み？
①挑戦のフィールド
②人が育つ
③文化が息づく



Vision

今、何を目標している？
「未来都市」「人材成長都市」「共創都市」
ポスト万博シティの推進



CONTENTS

多様な交流により

「学び」と「共創」が広がるサイエンスシティ

01 History and Evolution

けいはんな学研都市の成り立ちと発展の歩み

- 理念から始まった都市構想
- けいはんな学研都市の基盤機関

02 The Present and Future of Keihanna

けいはんな学研都市の目指す姿

- 新たなステージへ
- 都市の概要
- 数字で見るけいはんな学研都市
- けいはんな万博2025のレガシーをつなぐ

03 The Charm of Keihanna

けいはんな学研都市の魅力

- ①挑戦のフィールド
 - ・集積と多様性がひらく、挑戦の可能性
 - ・イノベーションを生む実証・共創の仕組み
- ②人が育つ
 - ・クリエイティブな人材が育つ「人材成長都市」
 - ・競技から生まれる共感と社会実装 — アバターチャレンジ —
 - ・次世代を育てる、学びと体験のフィールド
 - ・多様な主体による次世代人材育成の取組や組織
- ③文化が息づく
 - ・自然や歴史と調和した都市環境
 - ・文化・交流

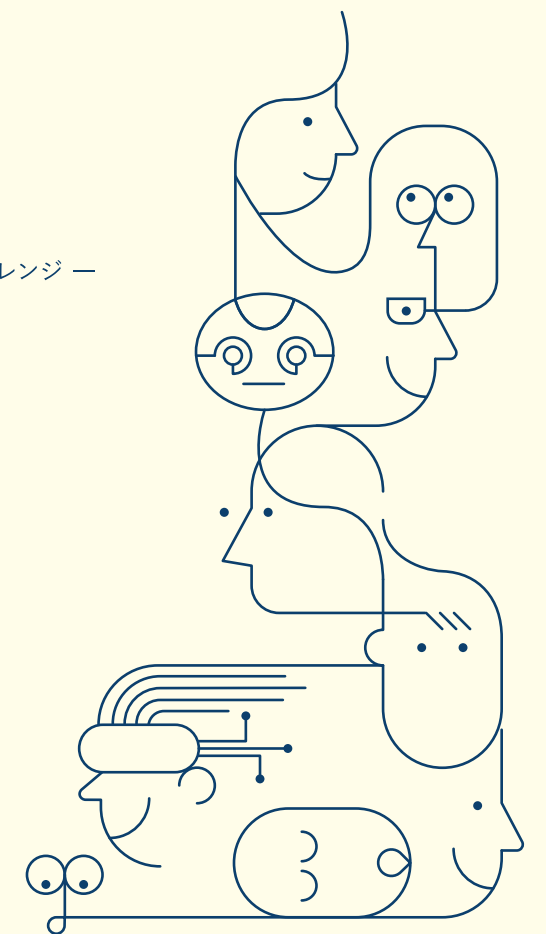
04 Facility Overview

立地施設の紹介

アクセス

05 Development Plan Map

開発計画図



01 けいはんな学研都市の成り立ちと発展の歩み

History and Evolution

理念から始まった都市構想

1972年、世界的シンクタンクであるローマクラブの報告書『成長の限界』は、資源枯渇や環境汚染、南北格差など人類社会の深刻な課題を指摘し、世界に衝撃を与えました。この問題意識を受け、京都大学元総長・奥田東氏は「全人類の一層の幸福増進に寄与する新しい地球文明の創造」を理念に掲げ、新たな学術研究都市構想を提唱しました。

1978年、この理念に共感した近畿圏の大学関係者等による「関西学術研究都市調査懇談会（通称：奥田懇）」が発足。大学・研究機関の集積等の検討が進められました。

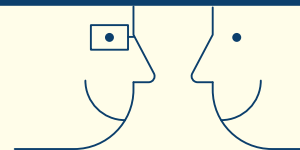
さらに、1980年、文化人類学者の梅棹忠夫氏による「新京都国民文化都市構想」と融合し、学術と文化を併せ持つ「文化学術研究都市」構想となり、国家プロジェクトへと発展しました。

1987年、関西文化学術研究都市建設促進法の施行を受けて、京都・大阪・奈良の三府県にまたがる緑豊かな丘陵地に関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）が誕生します。

現在、約160の研究機関・企業が集積し、1万人以上の研究者・職員が従事するサイエンスシティへと成長しました。住民の協力を得て通信やエネルギーなどの先端技術の社会実装を推進し、未来社会のモデルを創出しています。

1978年：構想誕生

1987年：けいはんな学研都市誕生



奥田懇による提言

意義・理念

文化・学術・研究の新たな展開の拠点づくり

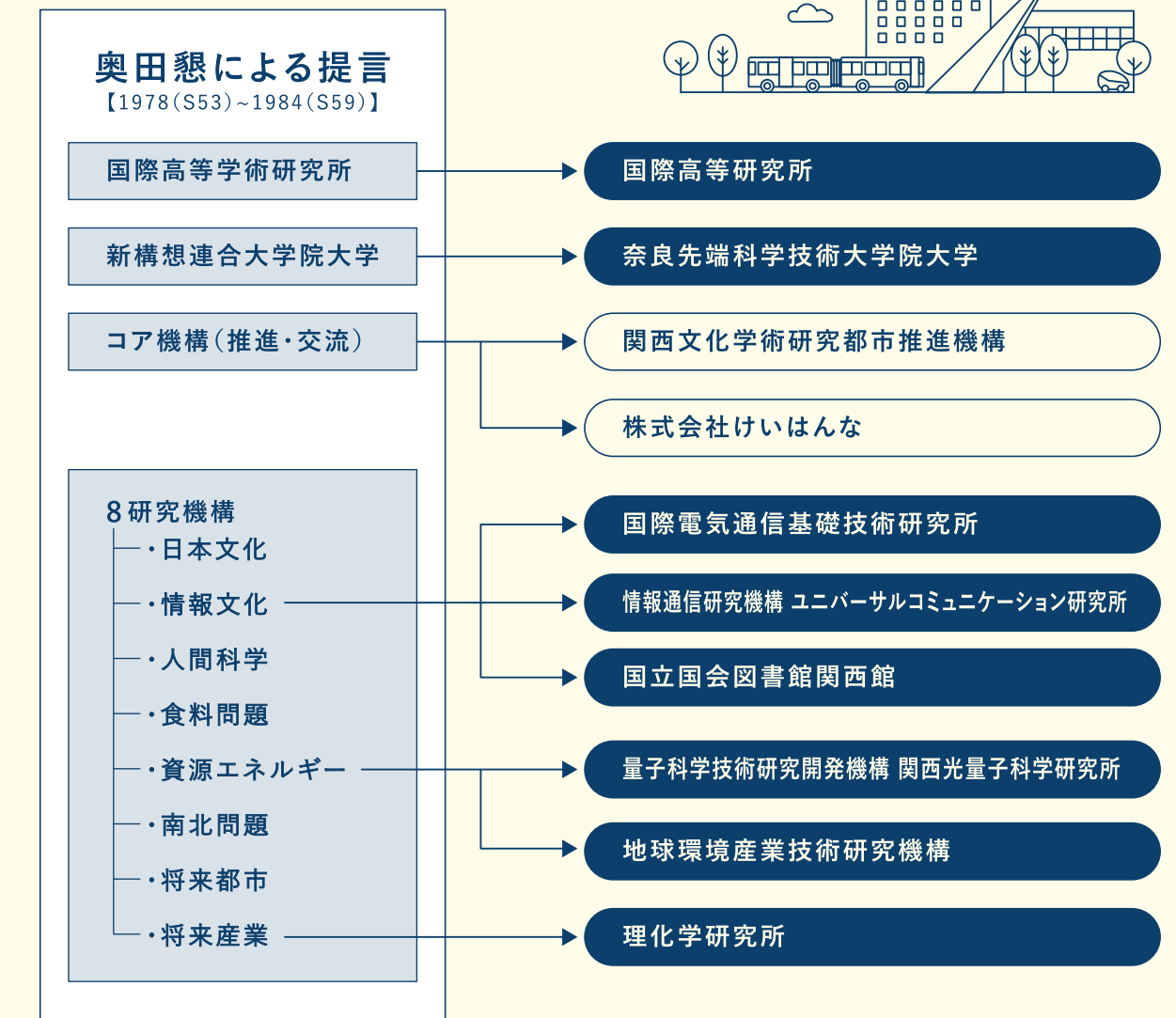
我が国及び世界の文化・学術・研究の発展、並びに国民経済の発展への寄与
未来を拓く知の創造都市の形成

※関西文化学術研究都市の建設に関する基本方針
昭和62年9月30日決定（10月19日総務庁告示第24号）より

人類社会の諸課題に応えるための

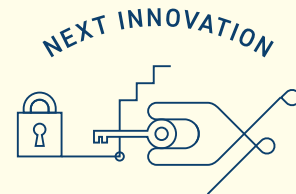
新しい学術研究機関の設置と総合的な学術研究都市の形成

提言から実現へ



けいはんな学研都市の基盤機関

Core Institutions



Core Institution 01

公益財団法人 国際高等研究所 (IIAS)

1984年設立 1993年開所

基本理念「人類の未来と幸福のために、何を研究すべきかを研究する」のもと、21世紀のあるべき文化・科学・技術を見据え、課題探索型の基礎研究に取り組みます。そして地球社会の諸課題の予見と解決策を探究し、持続可能社会の実現に貢献します。

Building Bridges Beyond 2030
～何を研究すべきかを研究する～



Core Institution 02

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

1991年設立・開学

学部を持たない国立の大学院大学として、最先端の科学技術研究と高度人材育成を担っています。情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の3分野を柱として、これらの融合領域研究も推進し、国内外から多様な学生・研究者が集います。

未来を拓く
先端科学の大学院拠点



Core Institution 03

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)

1986年設立 1989年開所

「ともに究め、明日の社会を拓く」を理念に、国際連携のもと情報通信分野の先駆的研究とイノベーション創出を推進しています。研究開発が中心ですが、それだけでなく、研究成果の事業化やスタートアップ支援を通じて、イノベーションエコシステムの発展に貢献しています。

研究分野: 脳情報科学/AI/無線・通信/
ヒューマンインタラクション



本実験はJSTムーンショット型研究開発事業、JPMJMS2011の支援を受けたものです。

Core Institution 04

国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所 (UCRI)

1984年設立 1993年開所

誰もが分かり合えるユニバーサルコミュニケーションの実現を目指し、言葉の違いだけでなく、文化や状況、空間、現実世界と仮想空間の隔たりといった多様な「コミュニケーションの壁」を越えるためのAI技術の研究開発を行っています。

研究分野:
多言語AI/音声認識/次世代ネットワーク



Core Institution 05

国立国会図書館関西館

2002年開館

国内外の膨大な図書や雑誌、新聞、データベース、デジタル資料を収蔵し、高度情報化社会に対応した図書館サービスの拠点として機能しています。研究者や専門家のみならず、広く社会に開かれた存在として、過去の知を未来へつなぎ新たな発想と探究を支えています。

研究・創造活動を支える
知の基盤



Core Institution 06

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE)

1990年設立 1993年開所

地球温暖化対策技術の中核的研究拠点として、CO₂の回収・有効利用・貯留 (CCUS) やバイオものづくり、DAC技術などの研究開発を推進。加えて、温暖化対策・政策の立案に資するシナリオ策定を通じ、革新的なエネルギー・環境技術による持続可能社会の実現に貢献しています。

研究分野: CO₂回収・有効利用・貯留/
バイオものづくり/地球温暖化対策シナリオ



Core Institution 07

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 (QST) 関西光量子科学研究所

2016年発足

世界最高水準のレーザー技術を基盤に量子科学研究と応用開発を推進、レーザー加速器、非侵襲血糖値センサー、インフラ検査技術など、医療・産業分野への社会実装を目指した新技術創出に取り組むとともに、量子科学の普及啓発も行っています。

研究分野: 超高強度レーザー/
量子生命科学/放射光科学



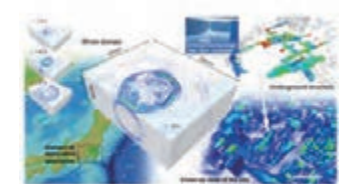
Core Institution 08

国立研究開発法人 理化学研究所 (RIKEN)

1917年設立

最先端の科学技術をリードする我が国の自然科学の総合研究所として幅広い分野の研究開発を推進。けいはんなでは、社会課題解決のためのAIの基盤技術の開発、人とAI・ロボットが柔軟に共存する未来社会に向けたロボットプロジェクト、iPS創薬基盤の開発を行っています。

研究分野: 防災科学/
ガーディアンロボット/iPS創薬基盤開発



超並列計算物理シミュレーションとデータ学習のハイブリッド手法

Core Institution 09

独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所

1952年設立

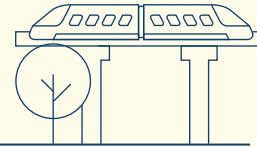
日本の歴史と文化を科学的に解き明かし、次世代へ継承するための中核的研究機関です。考古学や建築史、美術史など多分野にわたる研究と、文化財の保存・修復技術の開発を通じ、日本最先端の歴史・文化研究拠点として国内外から高い評価を得ています。

日本最先端の
歴史・文化研究拠点



02 けいはんな学研都市の目指す姿

The Present and Future of Keihanna

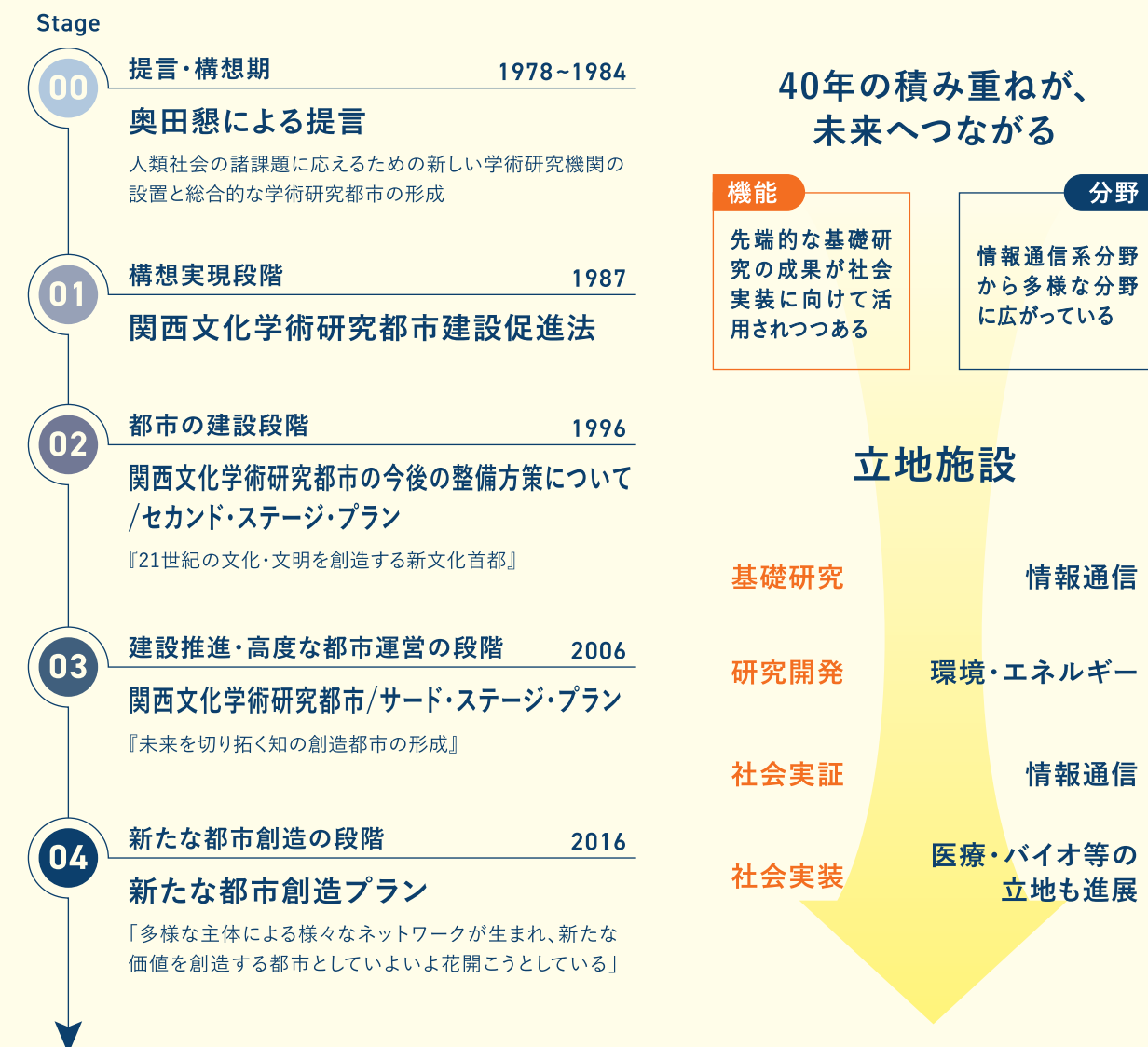


新たなステージへ

けいはんな学研都市は、文化と科学技術、研究と暮らし、人と人が交わる中で、未来社会の姿を具体的に描き、形にしてきた都市です。大学や研究機関、企業、住民が同じ都市空間を共有し、研究成果を実社会へとつなぐ実証プロジェクトが数多く展開されています。

国家プロジェクトとして40年以上にわたり段階的な都市づくりを進めてきたけいはんな学研都市は、4つのステージを経て発展してきました。現在、けいはんな学研都市は、ポスト万博シティとして、都市の建設を主とするステージから研究成果等の活用・拡大を図っていくステージへの進化が求められており、その方向性を示す「第5期ステージプラン」が2026年にスタートしました。目指すべき3つの新たな都市像を掲げ、新たなステージへと歩みを進めています。

発展を支えたステージプラン



研究成果等の活用・拡大を図っていく新たなステージへ 2026～

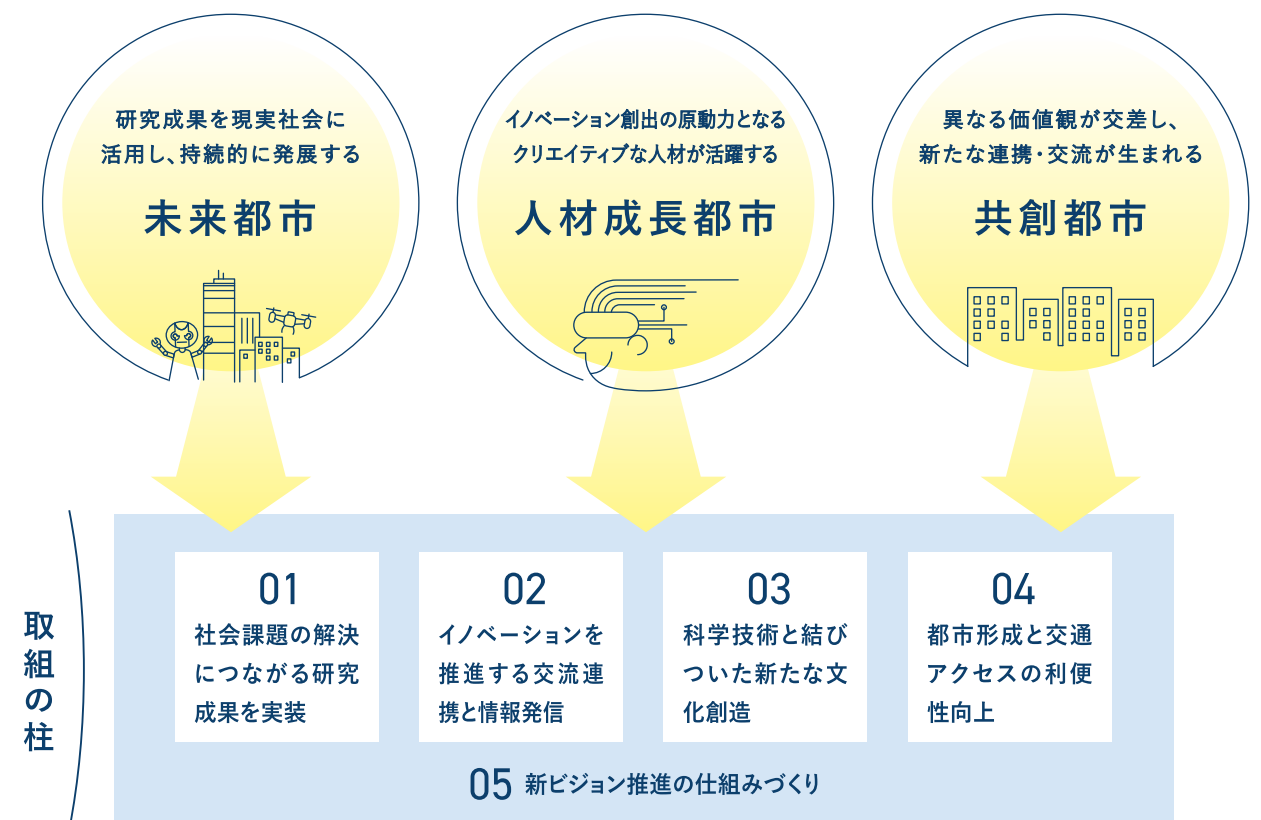
第5期ステージプラン ～ポスト万博シティけいはんな～

ビジョン

果たすべき役割 世界の未来への貢献
多様な知と文化の融合による新たな価値創造
日本や世界が直面する社会課題の解決への貢献

目指すべき都市像

課題解決型プラットフォーム



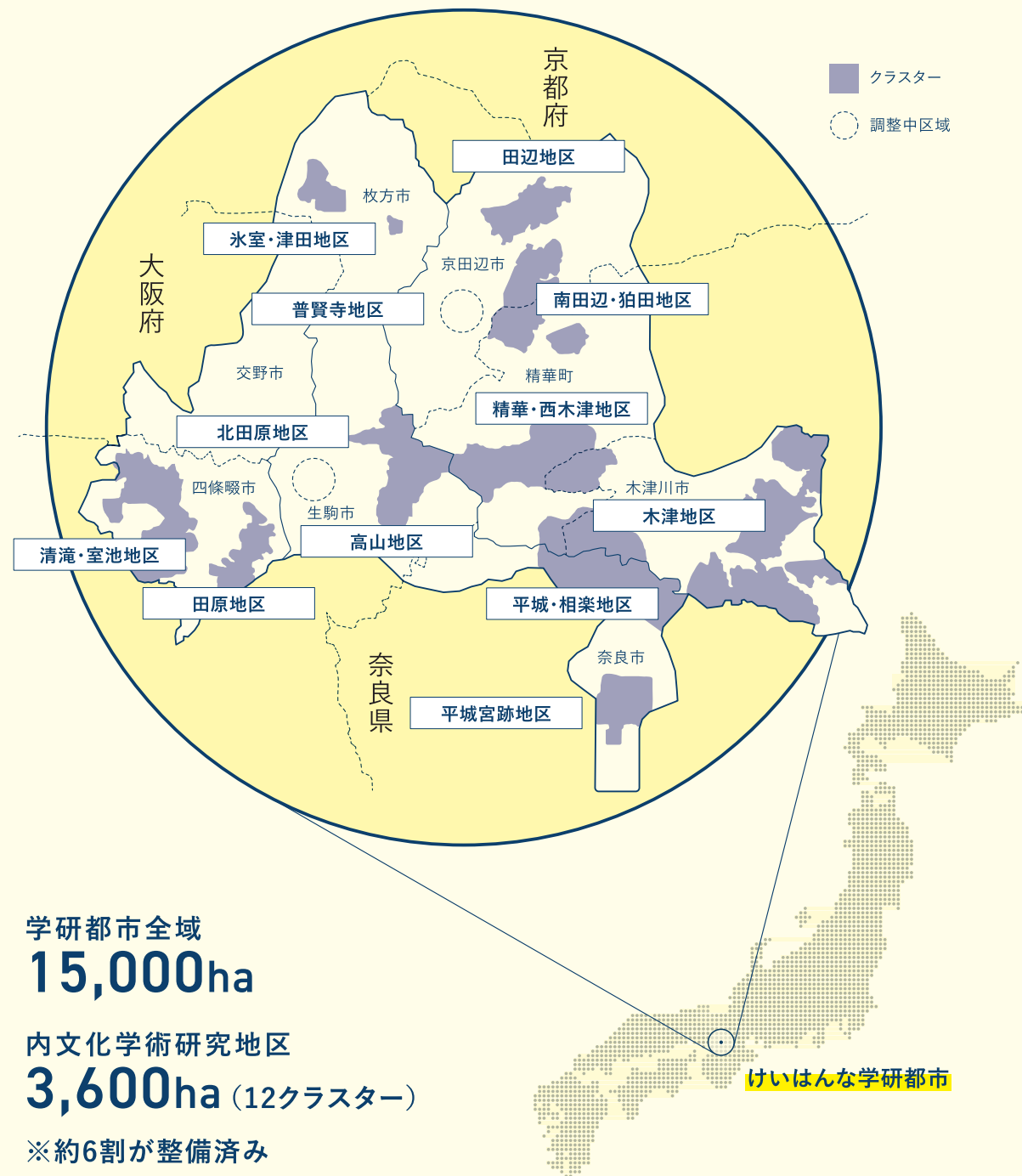
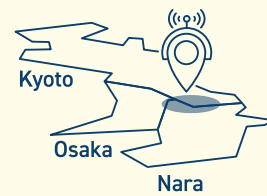
ポスト万博シティの推進

「大阪・関西万博アクションプラン」において、「ポスト万博シティ」に位置づけられたことを受けて、万博の成果を社会に実装する都市として、関西や日本の発展へ貢献できるよう、関西圏の他の拠点、特に夢洲とけいはんな学研都市を結ぶ東西軸を中心に各拠点との広域的な交流連携を深め、ポスト万博シティとして未来を先導していく役割を果たしていきます。

都市の概要

けいはんな学研都市は、京都、大阪、奈良の3府県にまたがる緑豊かな京阪奈丘陵において、関西文化学術研究都市建設促進法に基づき、建設・整備を進めているサイエンスシティです。京都市・大阪市の中心部から30km、奈良市の中心部から10kmの圏内に位置しています。

東の「つくば研究学園都市」とともに国家プロジェクトに位置付けられ、総面積は約15,000ヘクタール、その中に12の文化学術研究地区（約3,600ヘクタール）を分散配置しています。



開発の特徴

民間活力の活用

都市建設にあたっては、産学公住*の連携を基調とし、民間活力を最大限に活用。

各分野の適切な協力、役割分担の下、都市づくりを進めます。

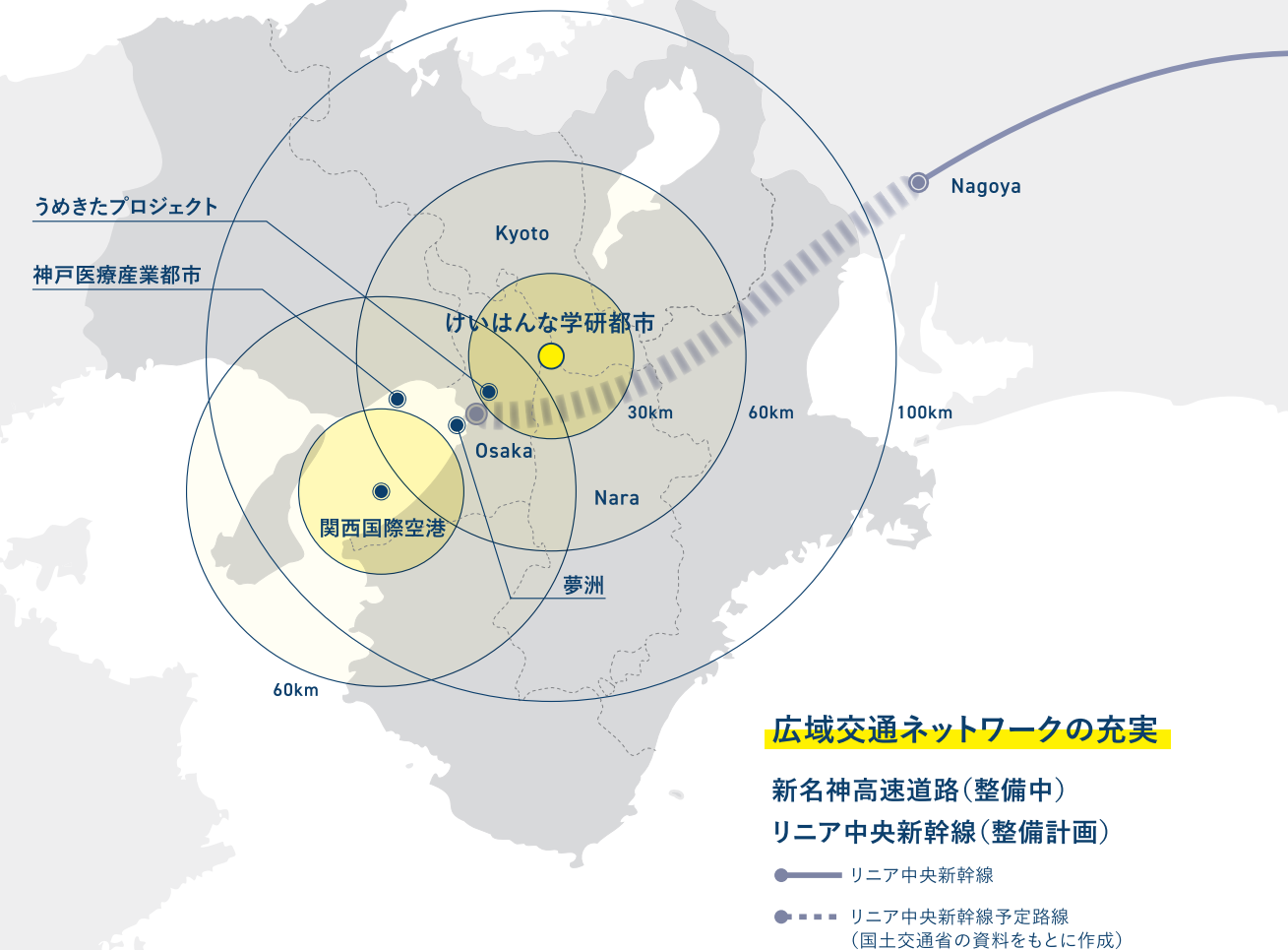
*産学公住：産業（企業）、学術（大学・研究機関）、公的機関（行政）、住民（地域社会）

クラスター型開発

12の文化学術研究地区（クラスター）をぶどうの房のように分散配置し、自然環境の保全や、既成市街地、農林業と調和のとれた開発を進めます。また、各地区の特性に応じた都市機能を分担させることで、都市全体での調和も図ります。都市整備のための条件が整った地区から逐次開発を進めることで、過大な先行投資や大幅な計画変更が避けられ、計画的、段階的な開発が可能となります。

文化学術研究施設と住宅の複合開発

文化学術研究施設だけでなく住宅地も含めた開発とし、学術と（生活）文化の融合した複合的な都市づくりを目指します。住民の生活に根ざした、都市としての賑わいや魅力が演出できるとともに、住民参加による具体的な実証実験や評価が可能となります。



数字で見るけいはんな学研都市

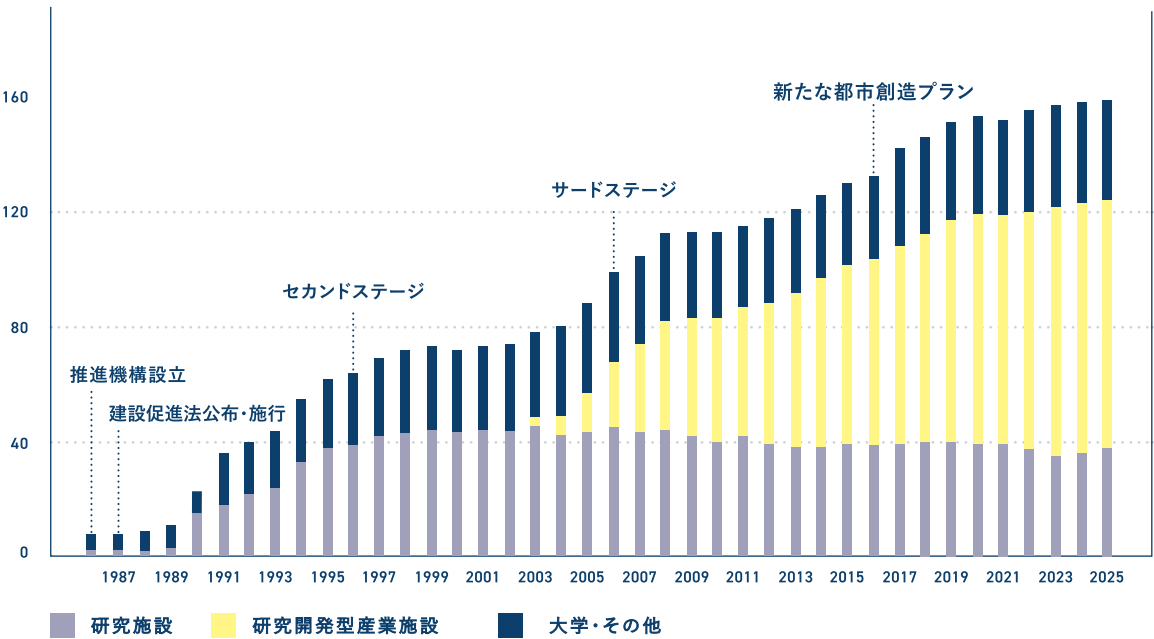
データが示す、実績とスケール

計画的に整備された研究都市としての規模と、住民と共に実証を行う開かれた都市である点が、けいはんなの大きな特徴です。

2026年4月1日時点



けいはんな学研都市の立地施設数の推移



けいはんな万博2025

(開催期間:2025年4月13日～10月13日)

「未来社会への貢献～次世代の解～」をテーマに、けいはんな学研都市全体で、「ロボット・アバター・ICT」「ウェルビーイング」「サイエンス&アート」「スタートアップ」を中心とした全74のイベントを展開し、20万人を超える来場者を迎えました。今後、けいはんな万博2025で生まれた成果(レガシー)を受け継ぎながら、「ポスト万博シティ」として未来社会の実現に向けた取組を展開していきます。



けいはんな万博2025のレガシーをつなぐ

けいはんな万博2025の成果を総括し、未来への決意を表明。

けいはんな宣言

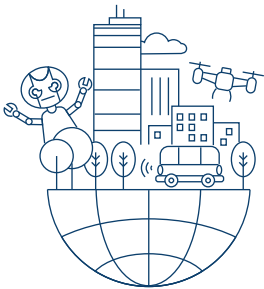
- 一、 様々な立場の人々が気軽に集うコモンズが整い、共に考え、共に学び、共に創る共創のネットワークが一層広がる中で、人材を育て、新たな文化や価値観、研究開発のアイデアを生み出す都市
- 一、 絶えずイノベーションを生み出し、社会における実証、実装を促進することで持続可能な事業や産業を育む都市
- 一、 豊かな歴史文化に基づく多様な叡智を集め、科学技術を人間の幸福につなげる理念と成果を、日本全国、さらに世界へと発信する都市
- 一、 誰もが科学の進歩や文化の豊かさを享受し、夢や希望に満ちた未来への高揚感を感じられる都市
- 一、 誰ひとり取り残さず、あらゆる人々が健康で平和で豊かに暮らせるウェルビーイングに満ちあふれた都市

これらを実現するため、けいはんな学研都市が一体となって挑戦を続けます。

令和8年1月9日 けいはんな万博2025運営協議会

けいはんな未来フェス

けいはんな万博2025の大きな成果として、大学・企業・団体・行政・住民といった多様な参加者の新たな人脈と信頼のネットワークが形成され、連携の礎が強化されました。その成果を活かし、第5期ステージプランの実現を促進するため、けいはんな発の多数のイベントを「けいはんな未来フェス」として、より強力かつ効果的に広報・プロモーションしてまいります。



MIRALULU

けいはんな学研都市シンボルキャラクター みらるる



けいはんな万博2025の開催を機に誕生したキャラクター。「けいはんな」をアルファベット表記した時に使う「京(けい)(k) 阪(はん)(h) 奈(な)(n)」の3文字を暖色で配置。地域の太陽のように輝く存在として、けいはんな万博2025開催後は、けいはんな学研都市のシンボルキャラクターの役割を担っています。

03 けいはんな学研都市の魅力
The Charm of KeihannaCharm
1 挑戦 のフィールド

集積と多様性がひらく、挑戦の可能性

けいはんな学研都市には、大学や国の研究機関、企業の研究所など、多様な研究・教育機関が都市全体に広がる形で立地しています。情報通信、AI、量子科学、環境・エネルギー、生命科学、さらには人文・社会科学まで。これらの研究機関は、基礎研究から社会実装までを見据え、産学公住の連携や国際共同研究を通じて、未来社会の課題解決に挑んでいます。分野も規模も異なる機関が集積することで、都市そのものが大きな研究フィールドとして機能しています。

1 D-egg
(同志社大学
連携型起業家育成施設)2 同志社大学
京田辺キャンパス3 同志社女子大学
京田辺キャンパス4 大阪電気通信大学
四條畷キャンパス5 国立大学法人奈良先端
科学技術大学院大学

6 奈良学園大学

7 国立研究開発法人
情報通信研究機構(NICT)
ユニバーサルコミュニケーション
研究所(UCRI)8 京都府立大学
精華キャンパス9 けいはんなプラザ・
けいはんなプラザホテル10 株式会社国際電気通信
基礎技術研究所(ATR)国立研究開発法人
理化学研究所(RIKEN)
けいはんな地区

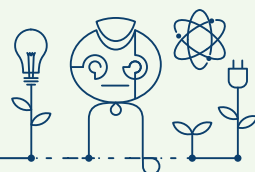
11 国立国会図書館関西館

12 公益財団法人
国際高等研究所(IIAS)13 公益財団法人地球環境
産業技術研究機構(RITE)14 けいはんなオープン
イノベーションセンター(KICK)15 国立大学法人
京都大学大学院
農学研究科附属農場16 国立研究開発法人量子科学
技術研究開発機構(QST)
関西光子科学研究所17 独立行政法人国立文化財機構
奈良文化財研究所けいはんなの
研究者を紹介しています

Introduction of the Researcher

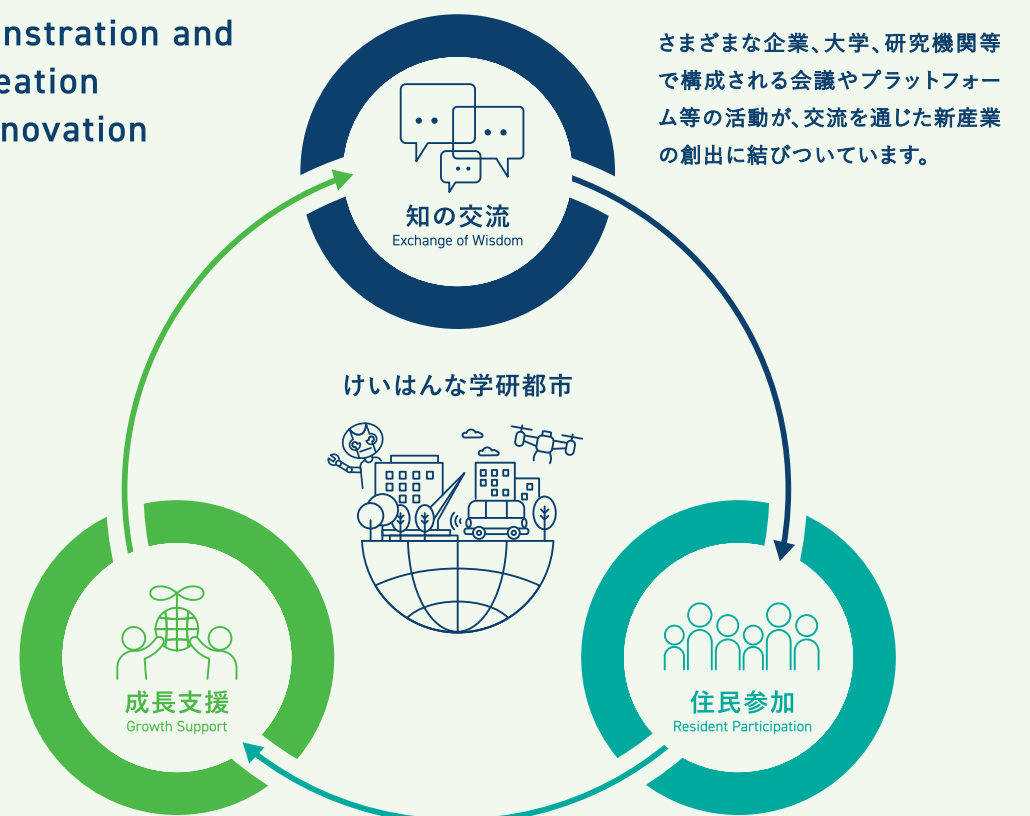
イノベーションを生む実証・共創の仕組み

Demonstration and Co-creation for Innovation



けいはんな学研都市では、知が生まれ、つながり、社会へと展開していくための基盤として、知的インフラとネットワークの整備を進めており、「知の交流」、「住民参加」、「成長支援」が相互に機能することで、研究・実証・実装が社会と乖離せず循環する仕組みが形成されています。

Demonstration and co-creation for innovation



けいはんなイノベーションハブ

「持続的にイノベーションを生み出す都市」を目指して、けいはんな学研都市のさまざまな支援機関の機能を集約し、相互連携による付加価値向上のため構築した仕組みです。けいはんな学研都市の強みである「実証実験環境」、「産学官公住連携」、「グローバル連携」を強化し、イノベーションの重要な担い手となるスタートアップの成長支援に注力することとしており、ポスト万博シティの推進のため、さらなる充実を図っています。



けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創会議

学研都市内のみならず関西全体を視野に、京都府、大阪府、奈良県に所在する13大学および本都市内の公的8研究機関等の学長、機関長が、分野や組織を越えて集まり、未来社会を創造するための革新的な研究開発やそれを支える人材の育成、文化・学術・研究の拠点のあり方などについて、定期的に意見交換を行っています。

学研フードテック共創プラットフォーム

食に係る人類の課題解決のため、「食」×「先進テクノロジー」である「フードテック」により、大学や研究機関、民間企業や行政等が「産学官」の世界的なネットワークを形成し、連携・研究チームを組成してオープンで幅広い情報交換やコラボレーションを行うことにより、食に係るイノベーションを推進します。



生活者の視点を、研究と産業につなぐ

「Clubけいはんな」サポートサービス

「Clubけいはんな」サポートサービスは、住民・生活者の視点を未来の産業・商品づくり、まちづくりにつなげる仕組みです。会員は、アンケートやモニター調査、体験型プログラムに参加し、研究開発段階の技術やサービスに対する率直な意見を企業や研究機関などに届けます。こうした声が、製品・サービスの改良や新たな研究テーマの創出につながります。



人を対象とした評価を支える

「HITO試験支援」

人の健康に寄与することを目的とした商品や製品を販売するためには、人を対象とした科学的な検証（「ヒト試験」と呼びます）によって、その安全性や有効性を確認する必要があります。「HITO試験支援」は、その検証の倫理性や試験計画の妥当性を確認する倫理審査会の開催、検証の目的に適した研究協力者の募集、試験設備や試験環境の構築を支援することで、質の高い「ヒト試験」の実現をサポートします。



日本初の企業乗合型・住民参加型

実証プラットフォーム「K-PeP」

K-PeP(Keihanna Public road experimental Platform)は、複数の企業等がフィールドを共有し、公道で技術やサービスを検証できる仕組みであり、地域住民が参加し体験や意見を企業等に提供することで、実用性と社会受容性を同時に高め、研究成果や技術シーズの社会実装を加速しています。これらの取組を通じて、「評価の壁」や「制度・知見の不足」を乗り越えることが可能となっています。



スタートアップ等の成長ステージに応じた

きめ細かな支援を行う「K-SAT」

K-SAT(けいはんなスタートアップアシストチーム)は、経験豊富なコーディネーターが様々な支援機関とのネットワークを生かして、スタートアップの成長ステージに応じたきめ細かな支援を実施しています。



スタートアップの挑戦を後押しする「KGAP+」

KGAP+(Keihanna Global Acceleration Program Plus)は、国内外の支援機関と連携し、研究機関や企業、自治体とのネットワークを活かしながら、実証フィールドの提供などの伴走支援により、海外展開も見据えたスタートアップの創出・育成を支援しています。



新たなイノベーションを創出する拠点

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)

公益財団法人京都産業21が京都府と連携し、先進的な研究開発を支援するオープンイノベーション拠点です。

けいはんなロボット技術センターや周回道路等の屋外敷地、5G基地局を使い、ロボットやドローン等の技術開発・実験、自動走行実験PoC(概念実証)の実証実験を支援しています。



けいはんな学研都市の魅力

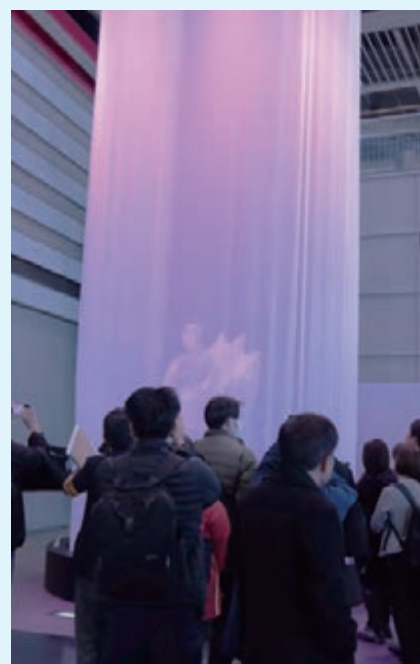
Charm

2 人が育つ

クリエイティブな人材が育つ「人材成長都市」

大学や研究機関、企業、住民など多様な主体が集うけいはんな学研都市。AI、ロボティクス、バイオ、VRなどの最先端技術分野で活躍する第一線の研究者や開発者と交流する場や、知的コミュニティ形成を目指す異分野交流会など通じて、世代や分野、国籍を超えたつながりが生まれています。

こうした出会いと共創の積み重ねが、イノベーションの原動力となるクリエイティブな人材を育み、未来を切り拓く力につながっています。

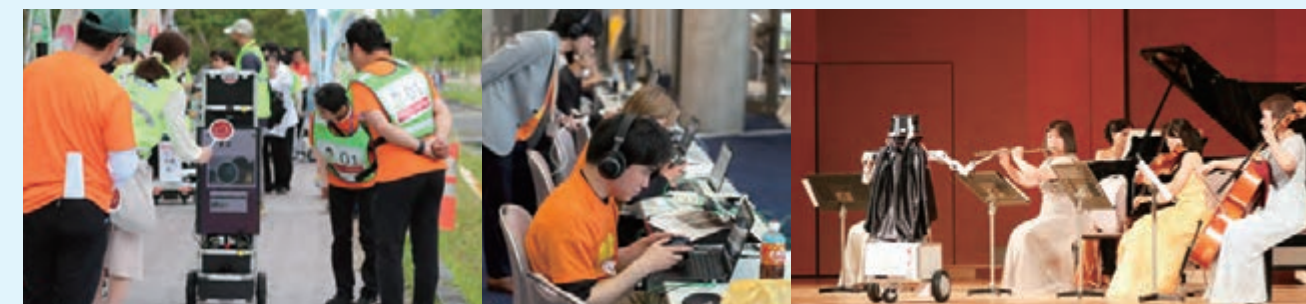


©いのちの未来／Future of Life

競技から生まれる共感と社会実装

— アバターチャレンジ —

アバターチャレンジは、ヒトとロボットが共生する社会の実現を目指す、社会実装型の取り組みです。その実証の場として、実社会のさまざまな局面を想定し、リモート制御ロボット「アバター」を用いた競技を行っています。学生や企業が競技を通じて技術を磨き、その進化の過程を地域の多くの皆さんに知っていただくことで、先端技術への理解を広げ、社会実装を前に進めることを目指しています。これまで、技術開発に加え、公道走行時の安全を確保する運用体制や、警察の協議など、技術を社会に受け入れていくための工夫を重ねてきました。アバターチャレンジは、こうした試行錯誤を住民に開きながら、未来社会の姿を技術者と地域がともに考え、共創していく場として機能しています。



次世代を育てる、学びと体験のフィールド

けいはんな学研都市では、子どもたちが科学や技術に出会い、体験を通して学ぶ機会が広がっています。さらに、高校生向けの探求・研究プログラムや、大学生によるメンター活動を通じて、学びが世代を超えてつながる環境が育まれています。

多様な主体による次世代人材育成の取組や組織

次代を担う若い世代を育む挑戦と創造の場を創出する

国際高等研究所 (IIAS) 研究プログラム合同人材支援

大学と連携し、生徒自身が問いを立てる力を育む

同志社大学「わたしのサイエンスプロジェクト」

産学官と地域が連携し、子どもたちに学研都市にふさわしい学びの場を提供する

精華町「科学のまちの子どもたちプロジェクト」

先端科学と伝統技術を学び、創造性と探究心を育む

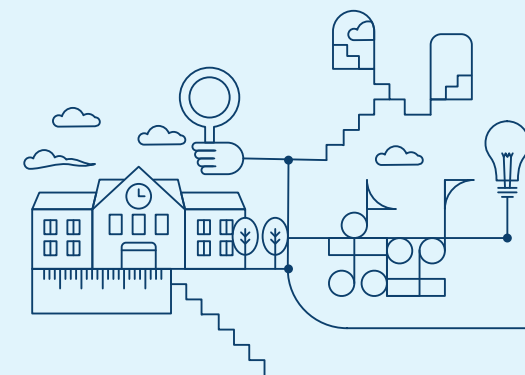
同志社ジュニア・クリエイティブ科学アカデミー

実践的な技術習得を支援する

次世代ロボットエンジニア支援機構

高校生・高専本科生を対象とした科学技術と探究・研究を学ぶ教育プログラム

NAIST STELLA プログラム「『共創』が育む主体性の未来」



けいはんな学研都市の魅力

Charm
3

文化が息づく

自然や歴史と調和した都市環境

けいはんな学研都市は、計画的な開発により、丘陵地の地形を生かした緑豊かな景観が日常に溶け込み、研究や仕事、暮らしのすぐそばで自然と文化に触れることができます。最先端技術の実証フィールドと歴史・文化が重なり合う都市。それが、けいはんな学研都市の魅力です。

ほしだ園地・星のブランコ



全国最大級の人道吊橋「星のブランコ」や、本格的なクライミングウォールを備えた自然豊かなアドベンチャーパーク。

大阪公立大学附属植物園



学術研究の拠点であり、市民にも開かれた植物園です。多様な植物コレクションと日本各地の森林を再現した樹林展示が特徴です。

むろいけ園地



池と湿地、深い森が広がり野鳥や昆虫など多くの生きものが暮らす自然観察の森。

高山竹林園



生駒市高山地区に受け継がれる伝統産業、茶釜づくりの技と文化を今に伝える拠点。

恭仁宮跡



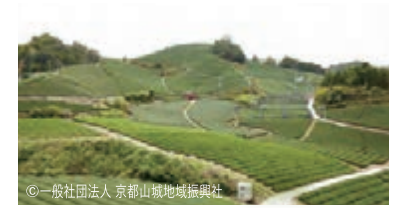
2026年2月17日、特別史跡に指定されました。現在は、大極殿(金堂)礎石と七重塔礎石が残っています。(木津川市観光ガイドWebより引用)

けいはんな記念公園



学研都市の理念を象徴する中核的な都市公園です。里山の地形や水景を生かした緑あふれる空間が広がります。

和束の茶畑



京都府指定の景観資産第1号として知られる茶畑は、日本遺産にも登録されています。

かせやまの森



里山再生、生物多様性に対する取組や地域住民による里山の利活用が進んでいます。

平城宮跡歴史公園



古代日本の都の記憶を今に伝え、歴史と自然を同時に体感できる、広大で開放的な空間です。

文化・交流 Connecting People, Fostering Community

けいはんな学研都市では、暮らしの中で文化を身近に体験できる多彩なプログラムが展開されています。研究者や技術者、アーティスト、住民など、多様な人々の交流の輪が広がっています。



ジャズフェスティバル(けいはんな記念公園)



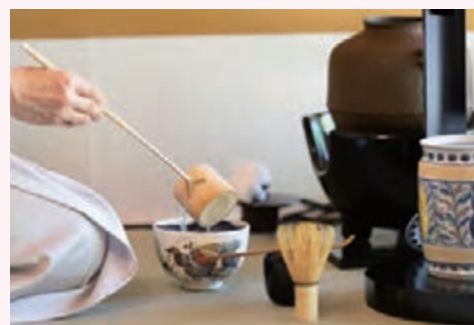
住民参加による現代ダンス創作公演
(けいはんなプラザ)



けいはんなお豆腐狂言(けいはんなプラザ)



公園でパレエ(けいはんな記念公園)



撮影:田口葉子



茶室「雅松庵」(国際高等研究所)

けいはんなの小さな音楽文化 — けいはんなプラザ・プチコンサート —

けいはんなプラザのアトリウムで第2・第4水曜の昼に開催される無料コンサート。1998年の開始以来、音大生や若手音楽家が出演し、昼休みに気軽に楽しめる音楽として長く親しまれています。若手演奏家にとって貴重な発表の場であるとともに、誰もが参加できる「まちの文化の広場」として、研究者や地域住民に音楽のある日常を届けています。また、行政・企業等の支援により継続してきた、地域に根ざした文化事業でもあります。



The Hub for Encounters

出会いと交流から、新しい知を生み出す都市のコア
けいはんなプラザ

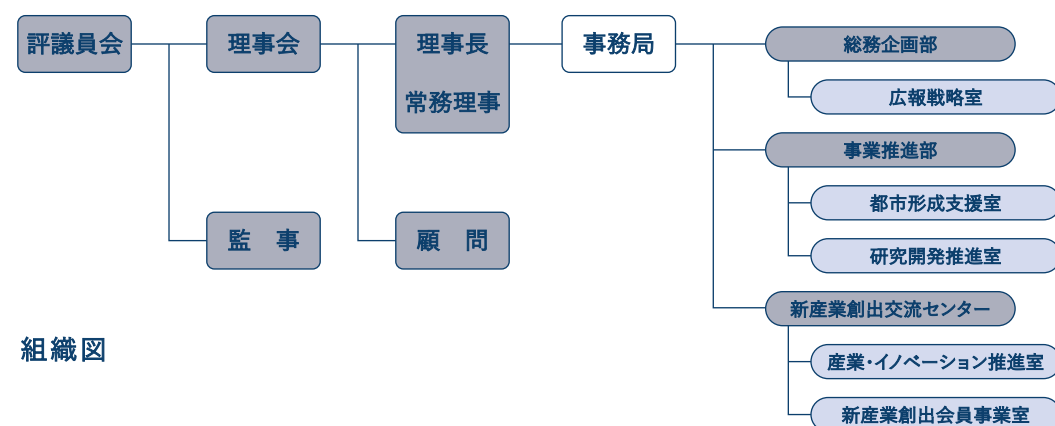
けいはんなプラザは、関西文化学術研究都市の中心に、分野や立場を超えた出会いと創造の交流拠点として生まれました。1000名規模のホールや会議室、ホテルを備え、コンベンションから文化イベントまで幅広い活動を受け止める場所です。光が満ちるアトリウムでは、若手演奏家のコンサートやアート展示が開かれ、前庭では世界最大級の文字盤を持つ日時計が人々を迎えます。人が集い、語り、交わることで次の知が生まれる — その思想を建築と空間で体現した文化学術研究交流施設です。



公益財団法人

関西文化学術研究都市推進機構

京都・大阪・奈良の3府県にまたがる国家プロジェクト「関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)」の建設・整備を一体的に推進するために設置された中核機関。1986年の設立以来、産学公住連携のもと、都市の発展と活性化に取り組んでいます。



組織図

ご挨拶

(公財)関西文化学術研究都市推進機構(以下、「当機構」)は、1986年の設立以来、けいはんな地域の中核組織としてまちづくりを牽引してまいりました。2026年には設立40周年という節目を迎え、関西文化学術研究都市(愛称「けいはんな学研都市」)は、文化財と共存しながら我が国を代表するサイエンスシティへと発展し、約160の大学・国立研究機関・企業が集積する独自の知的創造拠点となりました。こうした発展の歩みの中で当機構は、都市構想から建設、運営に至るまで一貫してその推進役を担う一方、オープンイノベーションの促進、スタートアップ支援、先端技術の実証フィールドの提供など、多様な取り組みが求められてきました。2025年には大阪・関西万博と連携した「けいはんな万博2025」を成功裏に終え、その成果を新たなレガシーとして継承・発展させるとともに、ポスト万博シティとして社会実装を着実に進めていきます。加えて、国立研究機関を中心に、企業、大学との連携を一層強化し、社会課題の解決と新たな価値創出の両立を目指し、革新的なイノベーションを起こすことにより、人類社会の進歩発展に貢献してまいります。

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

理事長 **山口 悟郎**

04 立地施設紹介

Facility Overview



けいはんなの
立地施設を紹介しています

Facility Overview

施設名	分野	地区名
アイコム株式会社 ならやま研究所	電気機器	平城・相楽
朝日印刷株式会社 京都クリエイティブパーク	紙・印刷	木津
株式会社芦田製作所 本社工場	機械	高山
株式会社アスク	金属製品	氷室・津田
株式会社アテックス 京都事業所生産研究開発センター	プラスチック	精華・西木津
アドコート株式会社	化学・化学製品	精華・西木津
株式会社イーシーフロンティア	精密・医療機器	精華・西木津
株式会社イオンテクノセンター	サービス業	氷室・津田
株式会社イチグチ	その他の製造業	精華・西木津
株式会社井上製作所	機械	精華・西木津
株式会社ウイスト	機械	精華・西木津
株式会社ウィル	精密・医療機器	精華・西木津・木津
有限会社ウィルコンサルタント けいはんなセンター	サービス業	精華・西木津
植田工業株式会社	金属製品	氷室・津田
上六印刷株式会社	紙・印刷	高山
ACS株式会社 ACSソリューションセンター	商業	木津
エースジャパン株式会社 研究開発センター	その他の製造業	精華・西木津
SEI生駒セミナーハウス	サービス業	清滝・室池
SEW-オイロドライブ・ジャパン株式会社 京都工場	機械	精華・西木津
NTTコミュニケーション科学基礎研究所	情報・通信	精華・西木津
株式会社エムジー 京都テクノセンター・京都商品センター	電気機器	木津
エンゼルブレイングカード製造京都株式会社 関西学研工場 研究開発センター	その他の製造業	精華・西木津
大阪公立大学附属植物園	大学・教育機関	クラスター外
大阪大学大学院工学研究科自由電子レーザー研究施設	大学・教育機関	氷室・津田
大阪電気通信大学(四條畷キャンパス)	大学・教育機関	清滝・室池
大阪府民の森 くらんど園地・ほしだ園地	文化施設・公園	クラスター外
大阪府民の森 むろいけ園地	文化施設・公園	清滝・室池
大阪府立北大阪高等職業技術専門校	大学・教育機関	氷室・津田
オムロン株式会社 京阪奈イノベーションセンタ	電気機器	精華・西木津
株式会社オリエンタルペーカリー 京都工場	食品	精華・西木津
カゴヤ・ジャパン株式会社 けいはんなラボ	情報・通信	精華・西木津
香椎化学工業株式会社 カシーテクニカルセンター	化学・化学製品	氷室・津田
株式会社加地 けいはんなR&Dセンター	その他の製造業	精華・西木津
カナデビア株式会社 けいはんな事業所	機械	平城・相楽
株式会社河内金属製作所	金属製品	氷室・津田
環境衛生薬品株式会社 関西学研ラボラトリー 生活圏環境衛生研究所	サービス業	精華・西木津
株式会社環境総合リサーチ	サービス業	精華・西木津
株式会社キタムラ	金属製品	氷室・津田
共栄製茶株式会社 京都テクノセンター	食品	木津
京香食品株式会社 株式会社西村幸太郎商店 城山台工場	食品	木津
京セラ株式会社 けいはんなリサーチセンター	電気機器	精華・西木津
京都大学大学院農学研究科附属農場	大学・教育機関	木津
京都府農林水産技術センター 生物資源研究センター	官庁・地方自治体	南田辺・粕田

施設名	分野	地区名
京都府立大学(精華キャンパス) 農学食科学部附属 農場・産学公連携研究拠点施設	大学・教育機関	南田辺・粕田
京都プレス工業株式会社	金属製品	木津
株式会社きんでん 京都研究所	建設	平城・相楽
株式会社Green Factory TFK テクノファームけいはんな	農林・水産	精華・西木津
けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)	研究機関	精華・西木津
けいはんな記念公園	文化施設・公園	精華・西木津
けいはんなプラザ・けいはんなプラザホテル	文化施設・公園	精華・西木津
一般社団法人KEC関西電子工業振興センター	研究機関	精華・西木津・高山
ケービーエス工業株式会社	その他の製造業	精華・西木津
株式会社広和工業	機械	精華・西木津
公益財団法人国際高等研究所	研究機関	精華・西木津
株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)	研究機関	精華・西木津
国立国会図書館関西館	情報・通信	精華・西木津
サイレックス・テクノロジー株式会社	その他の製造業	精華・西木津
坂本精器株式会社	金属製品	氷室・津田
株式会社坂本設計技術開発研究所	その他の製造業	氷室・津田
株式会社サワーコーポレーション	その他の製造業	氷室・津田
サンシード株式会社	プラスチック	精華・西木津
三晶株式会社 中央研究所	商業	氷室・津田
参天製薬株式会社 奈良研究開発センター	医薬品	高山
サントリー ワールド リサーチセンター	食品	精華・西木津
株式会社ジーネス	機械	精華・西木津
株式会社ジェヌインアールアンドディー	食品	精華・西木津
株式会社島川製作所	機械	氷室・津田
株式会社島津製作所 Shimadzuみらい共創ラボ	精密・医療機器	精華・西木津
シャープ労働組合研修レクリエーションセンター アイアイランド	サービス業	清滝・室池
株式会社祥碩堂	その他の製造業	木津
国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所(UCRI)	研究機関	精華・西木津
株式会社SHIN-JIGEN	電気機器	平城・相楽
新日本理化株式会社 京都R&Dセンター	化学・化学製品	精華・西木津
新熱電塗装工業株式会社	その他の製造業	南田辺・粕田
株式会社伸和製作所	輸送用機器	氷室・津田
株式会社清和光学製作所 関西事業所・枚方開発センター	精密・医療機器	氷室・津田
清和工業株式会社 木津IIECTセンター	輸送用機器	木津
積水ハウス株式会社 総合住宅研究所	建設	平城・相楽
相楽工業株式会社	鉄鋼・非鉄金属	精華・西木津
双和化成株式会社	その他の製造業	精華・西木津
株式会社ダイイチテクノス	商業	氷室・津田
大幸薬品株式会社 京都工場・研究開発センター	医薬品	精華・西木津
ダイナミックツール株式会社	機械	精華・西木津
大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所	建設	平城・相楽

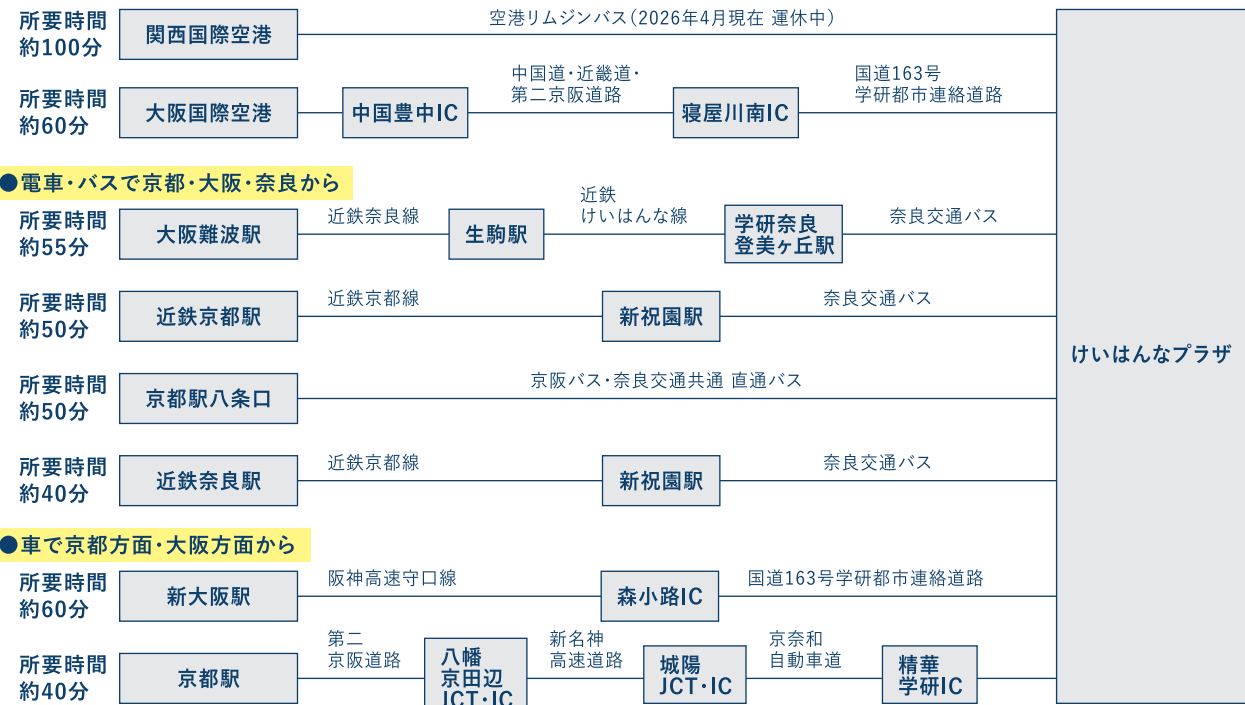
施設名	分野	地区名
株式会社タカコ 京都工場・技術革新センター	その他の製造業	木津
株式会社タカゾノ株式会社 タカゾノテクノロジー	精密・医療機器	氷室・津田
株式会社タカゾノリープス	その他の製造業	木津
高山サイエンスプラザ	その他	高山
高山竹林園	文化施設・公園	高山
タツタ電線株式会社 タツタテクニカルセンター	鉄鋼・非鉄金属	木津
公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)	研究機関	精華・西木津 平城・相楽
D-egg(同志社大学連携型起業家育成施設)	インキュベーション施設	田辺
株式会社テクノーブル サイエンスパーク京都	化学・化学製品	精華・西木津
株式会社テクノフレックス 京都研究所	金属製品	精華・西木津
東英産業株式会社	その他の製造業	精華・西木津
同志社女子大学(京田辺キャンパス)	大学・教育機関	田辺
同志社大学(京田辺キャンパス)	大学・教育機関	田辺
内外化成株式会社 京都工場研究開発センター	プラスチック	精華・西木津
奈良学園大学	大学・教育機関	クラスター外
奈良市北部会館 市民文化ホール	文化施設・公園	平城・相楽
国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学	大学・教育機関	高山
(独)国立文化財機構 奈良文化財研究所	研究機関	平城宮跡
株式会社二条丸八 二条丸八セレモニー研究所	その他の製造業	平城・相楽
ニデック株式会社 ニデックけいはんなテクノロジーセンター	電気機器	精華・西木津
株式会社日本果汁 京都南センター	食品	木津
日本スピードショア株式会社 本社研修所	サービス業	田原
日本制御株式会社	サービス業	精華・西木津
日本ニューロン株式会社 けいはんなサウスラボ 管路防災研究所	その他の製造業	精華・西木津

施設名	分野	地区名
株式会社Burley Plus	電気機器	高山
株式会社日阪製作所 生駒事業所	機械	高山
ヒラキ電計機株式会社 令和けいはんな事業所	電気機器	精華・西木津
株式会社枚方技研	サービス業	氷室・津田
株式会社ヒラノテクシード 木津川工場	機械	木津
株式会社ブルミッシュ 枚方研究工場	食品	氷室・津田
株式会社フォトン	その他の製造業	精華・西木津
福寿園CHA遊学パーク	食品	平城・相楽
株式会社プロテックス・ジャパン	その他の製造業	精華・西木津
平城宮跡歴史公園	文化施設・公園	平城宮跡
抱月工業株式会社	金属製品	木津
株式会社マルタカ テクノセンター	その他の製造業	木津
マンヨーツール株式会社	金属製品	木津
株式会社ミズホ ミズホテクニカルラボ	ガラス・土石製品	木津
株式会社三菱UFJ銀行 関西ビジネスセンター	金融・保険	精華・西木津
明和ゴム工業株式会社 京都生産技術センター	ゴム・ゴム製品	精華・西木津
森下仁丹株式会社 大阪テクノセンター	食品	氷室・津田
モリテックスチール株式会社 けいはんなR&Dセンター	金属製品	精華・西木津
吉泉産業株式会社	機械	氷室・津田
国立研究開発法人理化学研究所(RIKEN)	研究機関	精華・西木津
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構(QST) 関西光量子科学研究所	研究機関	木津
ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都	医薬品	木津

2026年4月1日時点

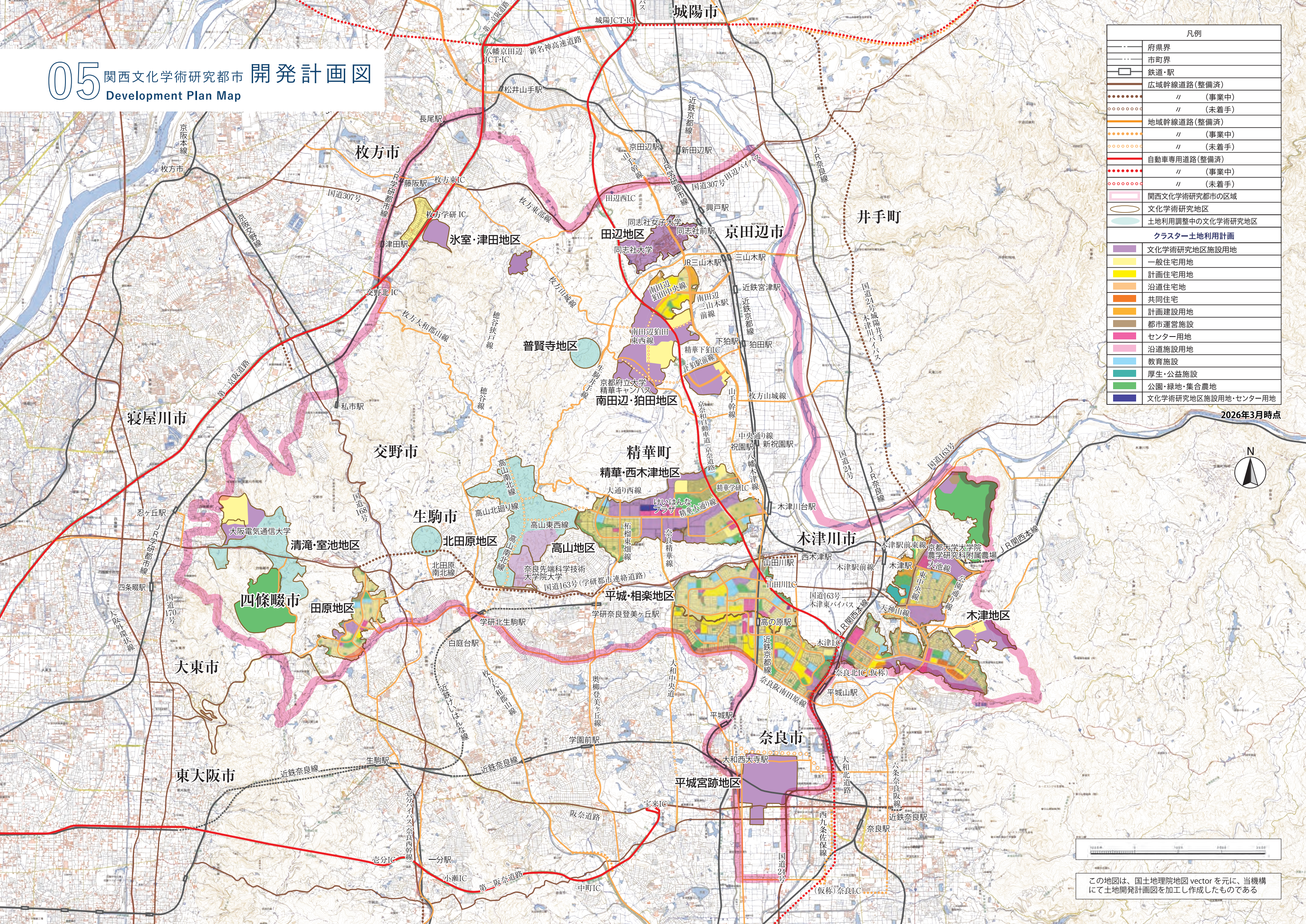
けいはんなプラザまでのアクセス

●空港から



05 関西文化学術研究都市 開発計画図

Development Plan Map



この地図は、国土地理院地図 vector を元に、当機構にて土地開発計画図を加工し作成したものである



けいはんな学研都市シンボルマークについて

「けいはんな」は関西文化学術研究都市の愛称です。シンボルマークのモチーフは「飛天」です。飛天とは、飛びながら天の花を散らし、音楽を奏で、香を講じる天女のことです。柔らかな曲線はけいはんな丘陵を、3つの形は過去・現在・未来の時の積み重ねを、また京都・大阪・奈良、あるいは産・学・官の連帯を表現しています。

公益財団法人
関西文化学術研究都市推進機構

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 1-7
けいはんなプラザ・ラボ棟 3 階
TEL. 0774-95-5105 FAX. 0774-95-5104
<https://www.kri.or.jp/>

